

授業方法について独自に工夫していること 【自然科学系】

実習を通して学習できるよう、ソフトを利用したりシステムの設定を実際に講義中に行うようにした

物理の専門の授業はむずかしく思われるので、できるだけ具体的に演習をまじえて授業を行っている。

補助プリント配付、成績基準の公開、過去の試験問題の配付と解答の解説、全員に採点、成績付の答案の返却(続く有機化学Bの授業で解答の解説予定)

授業中に出席の確認を兼ねて、1回は質問を投げかけるように努めている。

抽象的な話が多いため、新しい概念導入後は必ず多くの実例で説明をし補足している。また、かなり多くの演習問題を与え、概念定着を図らせることを心掛けている。

抽象的な話が多いため、新しい概念導入後は必ず実例を出し、また演習問題を多く解かせて身に付くようにしている。
また、配布するプリントは、整理しやすいよう作成している。

丁寧な解説と読みやすいプリントづくりを心掛けている。

授業進行に必要な資料(簡潔かつ十分な説明を含む)を準備印刷して配布する。
受講生による計算・作業等や他受講生とのディスカッション等の時間を持つ。

受講生の既修レベルに注意して講義内容を修正しながら授業を行う事。

普段の生活のインターネット利用において知らぬ間にお世話になっている技術について触れ、ネットワークの授業内容を身近に考えてもらおうと、務めている。

教材や資料を授業開始までにクラウド上で配信することにより、授業前・授業中における効率的な利用を促している。

協同学習をほぼすべてにわたって取り入れたこと。
児童・生徒の立場で授業を受けて、最後に教師との視点で話し合ったこと。

高校化学との関連性を示して、それとは異なる新しい視点を解説した。また、レポートの考察のポイントを示した。

特別なことは行っていないが、学生の理解度を意識した授業を心掛けている。

- ・すべての授業においてワークシートを作成・配布している。
- ・すべての回ではないが多くの回で学生に課題を与え、提出させている。解答例も示している。

机間巡視によって学生の理解度を確認
分からない箇所は学生に説明してもらう
毎回演習プリントを宿題として配布
学生が黒板で解説
講義の前に自分で教科書を読み、例題を見ることで演習にチャレンジ

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【自然科学系】

講義内の提出物、最終課題、実習の取り組み状況

あくまでテストの結果と授業の態度を見て成績を出している。

期末試験の点数により評価、答案に成績を付けて返却
999, $D < 40 \leq C < 50 \leq B < 60 \leq A < 80 \leq S$ で採点, 999, $D < 60 \leq C < 70 \leq B < 80 \leq A < 90 \leq S$ に換算.
化学II: 999_1, D_8, C_14, B_7, A_8, S_2

出席15点, 筆記テスト85点の合計点で成績評価を行っている。35名中, 不合格者は2名あった。全体的にB評価が多かったが, Sも2名, Aも10名以上いた。

試験と授業への参加態度

大気・水圏科学

出席(回数)、練習問題の板書(実施の有無)、中間・期末試験

大気・水圏科学実験

出席(回数)、授業態度(課題への取り組み)、レポート(テーマの広がり・深さ、データの作図、考察)

(1) 授業で扱った内容に関連して課したレポート(実験のデザイン)で評価
(2) 中間と期末の2回のテスト結果による。受講生によってはテスト直しの提出を課しその結果を加味

課題, 授業中の実習の提出物, 中間試験, 期末試験による総合評価。

テスト・レポート課題・出席状況をそれぞれ数値化したものに重み付けを施した計算式を用いて算出している。

個人としては、各まとめりごとのミニレポートと最終レポートと授業への参加状況。
グループとしては、各まとめりごとの課題(発表)。
の両方を加えて。

出席状況、レポートの提出、試験内容の理解等を総合的に評価した。

主に期末試験の成績に依る。
問題は標準的なものとし、学生の到達目標を明確にした。

・期末試験を重視している。授業によって異なるが、期末試験の成績を70~80%としている。残りの20~30%は提出課題の成績。

第1回目のガイダンスで説明したとおり、基本的な事柄に関して理解できているかいないかが基準。

アンケート結果を受けて改善したいところ 【自然科学系】

講義時間外の自習時間がほとんどない学生が多かったため、予習用教材の作成、課題をもっと課すよう改善したい

もっと演習時間を増やすこと。宿題を出せば良かったと思う。

必修の授業であるが、1限のこともあり、欠席が多かったのが、アンケートからは見えない。話し方の聞き取りやすさについては、努力はするが、改善が難しい。前年度の担当者(非常勤)に比べ範囲も狭く絞っており、過去問も配付してあるので、D評価になるのは全く過去問を勉強してきていないからと推測される。

難しいと感じる学生がいるので、内容をわかりやすく説明できるように、工夫が必要である。

問11が平均と比べてよくない。来年度以降、何らかの対策を考えたいと思う。

問15において1時間未満が半数以上を占めている。課題の量は比較的多いと思うが、必須とせず自主性に任せているため、多くの受講生の学習時間が少なくなってしまったと考える。試験の出来も例年に比べて悪かったため、課題を必須にすべきか、また中間試験のようなものを実施すべきか検討したい。

問8～10の結果がよかったことに関しては、講義への努力や工夫が実ったかと思う。授業内容の量が多いと考える学生が多く、また週当たりの学習時間が少ないため、今回は授業で行う内容を課題に回したいと考える。

受講生の自主的学習時間・意欲が少ないようなので、自習に適した課題やさらに興味を深める方法等を示す。

もう少し内容を絞り込む必要があると考えている。

授業内容が難しすぎるなら、レベルを下げようとも考えるが、それだと、専門高校の情報にも対応している高校1種情報の免許教科にそぐわないのではないかという危惧がある。

内容が「難しい」という回答が予想よりも多かった。内容を厳選し、各項目の解説に充てる時間を増やすよう対処したい。

この授業は、今年度が全く初めてのものを0から作ったものであり、試行錯誤しながら取り組んだ。ただ、授業の難易度や、学生同士で授業内容を深め合ったことについては一定の評価を得られたので、この結果を基に、来年度以降につなげたい。

もう少し自宅学習の時間が増える様な課題を設定したい。

入試形態の変更に伴う学生の学力低下に沿った授業内容の見直し。
意欲のない学生に対するモチベーションの向上。
学習内容についてこられない学生に対する対処。